



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

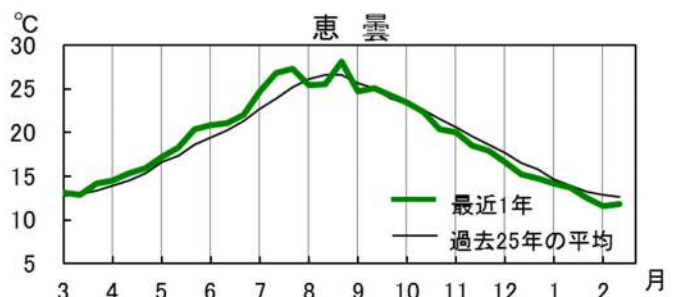
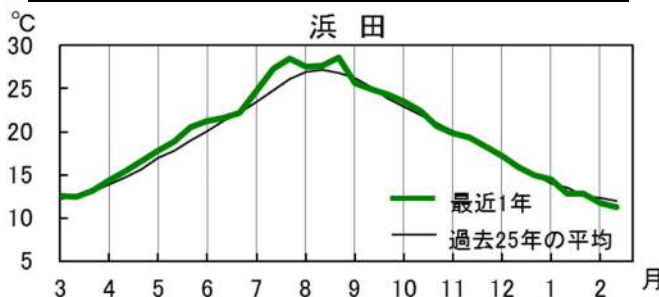
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《1~2月の海況》

1月	月平均	平年差	評価
浜田	13.3℃	0.0℃	平年並み
恵曇	13.3℃	-0.5℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では、1月上旬は「平年並み」、中旬は「やや低め」、下旬は「平年並み」となり、2月に入り月上旬時点で「やや低め」で経過しています。恵曇地区では、1月上旬は「やや低め」、中旬は「平年並み」、下旬は「やや低め」となり、2月に入り月上旬時点で「はなはだ低め」で経過しています。



《1月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は72.8トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は646トンで平年の3.1倍、マアジは136トンで平年の2.4倍となりました。隠岐地区ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は102.5トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は6,787トンで平年の2.9倍となりました。その他の魚種は、ブリが602トンで平年の約8割、マアジが348トンで平年の約4割、マイワシが20.9トンで平年の1割以下に留まりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は257kgで平年並みでした。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は119kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではマフグ、スルメイカ、アカムツを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は15.0トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、マフグは平年の8割、スルメイカは平年の1.6倍、アカムツは平年の2.1倍の水揚げでした。その他、キダイは平年の1.2倍、マアジは平年の3.9倍の水揚げだった一方、ムシガレイは平年の7割、ソウハチは平年の3割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アカガレイ、ヒレグロ主体の漁況で、総漁獲量は317トンで平年の1.3倍、1統1航海当たりの漁獲量は922kgで平年の1.2倍でした。魚種別の動向(総漁獲量)は、ソウハチ・アカガレイはいずれも平年の1.2倍、ヒレグロは平年の1.1倍でした。また、アカムツは平年の3.3倍で、ニギス・アンコウはいずれも平年の1.7倍でした。その他、スルメイカは平年の2.3倍、アナゴ類は平年の1.8倍、ヤリイカは平年の1.6倍の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、ブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は16.0トンで平年の9割でした。魚種別の動向(総漁獲量)は、サワラ類は平年の1.4倍の漁獲量でした。石見地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は4.9トンで平年の6割でした。魚種別の動向(総漁獲量)は、マアジは平年の1.4倍、サバ類は平年の5割の漁獲量でした。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は17.7トンで平年の5割でした。魚種別の動向(総漁獲量)は、スルメイカは平年の4割の漁獲量でした。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は246kgで平年を下回りました。石見地区ではブリが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は274kgで平年を上回りました。隠岐地区ではブリが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は165kgで平年並みでした。

【平成 30 年 1 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	801 トン	369%	269%	72.8 トン	201%	230%	◎
	隠岐	サバ類	7,789 トン	126%	173%	102.5 トン	114%	190%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	59 トン	—	101%	257kg	—	52%	○
	西郷	スルメイカ	6.9 トン	—	88%	119kg	—	56%	▲
沖合 底びき網	浜田	マフグ、スルメイカ、アカムツ	286 トン	117%	98%	15.0 トン	124%	114%	◎
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アカガレイ、ヒレグロ	317 トン	136%	129%	922kg	100%	122%	◎
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、ブリ	112 トン	95%	84%	16.0 トン	109%	86%	▲
	石見	マアジ、サバ類	15 トン	69%	64%	4.9 トン	69%	57%	○
	隠岐	スルメイカ	35 トン	373%	72%	17.7 トン	242%	45%	○
釣り・縄	出雲	ブリ、サワラ類	29 トン	43%	43%	246kg	46%	53%	▲
	石見	ブリ	32 トン	189%	109%	274kg	232%	141%	◎
	隠岐	ブリ	11 トン	114%	84%	165kg	137%	110%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。

イカ釣り（5 トン以上）の浜田、西郷地区における前年の漁獲はほとんどなかったため、前年比は省略。